三菱 **業務用** ロスナイ

# 〈天井埋込形スタンダードタイプ〉

## 〈100V〉

形名

LGH-N15RS3, LGH-N25RS3,  
LGH-N35RS3, LGH-N50RS3,  
LGH-N65RS3, LGH-N80RS3,  
LGH-N100RS3

## 〈単相200V〉

LGH-N15RS3D, LGH-N25RS3D,  
LGH-N35RS3D, LGH-N50RS3D,  
LGH-N65RS3D, LGH-N80RS3D,  
LGH-N100RS3D

## 据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。  
間違った工事は、故障や事故の原因になります。  
お客様ご自身では据付けないでください。  
(安全や機能の確保ができません)

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。  
据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客様に必ずお渡しください。  
別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。

■この製品には別売のコントロールスイッチ他、システム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。

## もくじ

ページ

据付けの前に		据付けの前に
安全のために必ず守ること…	2～3	
標準据付例…	4	
外形寸法図と各部のなまえ…	4	
据付工事		据付工事
据付方法…	5～9	
電気工事…	10～12	
機能設定…	13	
据付工事後の確認…	14	
試運転		試運転
試運転…	15	
お客様への説明…	裏表紙	

# 安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたとき、軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

■ “図記号” の意味は次のとおりです。

 <b>禁止</b>	 <b>浴室据付禁止</b>
 <b>分解禁止</b>	 <b>指示に従い必ず行う</b>
 <b>アース線を必ず接続せよ</b>	

## **警告**

 <b>禁止</b>	<b>高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない</b> 火災の原因	 <b>指示に従い必ず行う</b>	<b>端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。</b> 端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する 接続に不備があると火災の原因
	<b>有害ガス・腐食性成分(*)を含んだガスが発生する場所には据付けない</b> (* ) 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因		<b>電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準(*)や据付工事説明書に従い据付ける。</b> また、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する (* ) 「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」 電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因
	<b>塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない</b> 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因		<b>漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する</b> 漏電した場合火災の原因
	<b>電気・電子機器等濡れて困るものの上には据付けない</b> 漏電火災や故障の原因		<b>金属製ダクトがメタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける</b> 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因
 <b>分解禁止</b>	<b>改造や必要以上の分解をしない</b> 火災・感電・けがの原因		<b>本体より室外側ダクトは室外に向かって下りこう配(1/30以上)になるよう据付ける。</b> また、断熱処理を確実に 行う 雨水の浸入による漏電・火災や建物・機械などの損傷の原因
 <b>浴室据付禁止</b>	<b>浴室など湿気が多い場所には、本体・コントロールスイッチとも据付けない</b> 感電および故障の原因		<b>コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める</b> ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因 システム部材取付け後、カバー内側に出たネジ先端部はネジキャップで必ず保護する
 <b>アース線を必ず接続せよ</b>	<b>単相 200V 製品はアースを確実に取付ける</b> アースを取付けないと故障や漏電のときに感電の原因		<b>据付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る</b> 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因
 <b>指示に従い必ず行う</b>	<b>定格電圧、制御容量範囲内で使用する</b> 間違った電源で使用すると、火災や感電の原因		
	<b>外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ</b> 新鮮な空気が入らず、酸欠状態になるおそれがあります		
	<b>電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る</b> 感電やけがの原因		
	<b>本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に</b> 行う 落下によりけがの原因		

# ⚠ 注意

 指示に従い 必ず行う	<b>吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する</b> 指定以外のものを使用すると、落下の原因	 指示に従い 必ず行う	<b>据付けの際は手袋を着用する</b> 着用しないとけがの原因
--	--	--	-------------------------------------

# お願い

- 霧・もや・高湿度な空気を吸い込むと、フィルター、ロスナイエレメントから水滴が垂れ、機外に水が漏れることがあります。このような場合は、運転モードの切換えをしてください。（高湿度空気を吸い込む場合は、換気モードをロスナイ換気で運転してください。濃霧や強風などで雨水が浸入するおそれがある場合は、運転を停止してください。天地逆設置の場合は水受皿の付け替えが必要です）
- 温水プール、浴室、きのこ栽培室、岩盤浴等の高温多湿(30℃以上、相対湿度80%以上の時)になる地域や霧の多発地帯\*で使用する場合、エアフィルターやロスナイエレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下においては業務用ロスナイは使用できませんので、耐湿形ロスナイをご使用ください。

**\* 霧多発地域**

- 視程50m～200mの濃い霧が3時間以上/日 発生する地域
- 山間部、湖、海岸など霧・もや・高湿度な空気発生のある地域
- 1か月に複数回、1晩以上霧が継続して発生する地域  
 （右表は上記にあてはまる地域を気象庁「気象統計情報」より抽出したものです。右表以外の地域でも上記にあてはまる地域は霧多発地域となります）  
 （霧・もや：視界範囲が10km以下となる高湿度状況）

都道府県名	地域名
北海道	稚内、北見枝幸、釧路、雄武、紋別、網走、寿都、江差、苫小牧、室蘭、浦河、帯広、根室
青森	八戸
岩手	宮古
宮城	石巻
福島	小名浜
栃木	奥日光
千葉	銚子、館山
静岡	石廊崎、御前崎
長野	軽井沢
高知	室戸岬
長崎	平戸、雲仙岳
熊本	阿蘇山

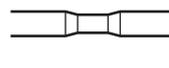
- 建物内が負圧になる設置環境では、運転停止時や間欠運転時に霧・もや・高湿度空気が室内に侵入することがありますので、電動ダンパーを併用してください。寒冷地・外風の強い場所や建物内が負圧になる設置環境の場合は、運転停止時に室内外の圧力差や外風により、冷氣・外風等が侵入することがあります。侵入防止策としてOA（外気）側およびEA（排気）側に当社推奨の電動ダンパー（AT-100・150・200・250DE（株式会社メルコエアテック製））を併用してください。
- 別売システム部材（耐外風雨・霧浸入防止フード）と組み合わせてご使用をご検討ください。なお、製品内に水が溜まっている場合は、水滴を拭き取る等の清掃を行い、ご使用ください。
- 寒冷地などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏温度条件によって、本体表面およびダクト接続部他に結露、結氷するおそれがあります。このような条件下で使用される場合は断熱材重ね貼りの追加工事を実施してください。別売の「寒冷地設置用断熱材」（受注対応品）を準備しています。  
 （寒冷地設置用断熱材の各機種サイズへの裁断および商品への貼り付けはお客様にて実施となります）  
 ※結露条件例 外気：0℃以下、設置場所露点温度：10℃以上（天井裏温度22℃以上で相対湿度50%以上のときなど）
- 電気・電子機器や濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の温湿度条件により製品から露が落ちて、破損や汚損につながる場合があります。
- 雨水浸入防止対策を施してください。（標準据付例の雨水浸入防止をご参照ください）
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 一般的に、郊外建物などで給気側屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下においては、給気側屋外フードから本体内に侵入した虫が、室内に侵入する場合があります。食品工場や病院などの衛生建物でこのような環境にあり、虫侵入を防止する対応としては、別売のシステム部材「虫侵入防止ユニット」をご使用ください。（本体への装着は工事店にて実施となります）
- 室外側のOA（外気）ダクトに過大な圧力損失がかかるとRA（還気）側からSA（給気）側への空気漏れが増加する傾向があります。OA側に過大な圧力損失がかからないように施工してください。
- 風量調節ダンパーを使用する場合、OA（外気）側とEA（排気）側で極端にアンバランスに設定しないでください。
- 外壁面の給排気口の位置はダクト径の3倍以上離してください。
- 製品運搬時・保管時には製品を縦置きしないでください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

●極端な曲げ

●多数の曲げ

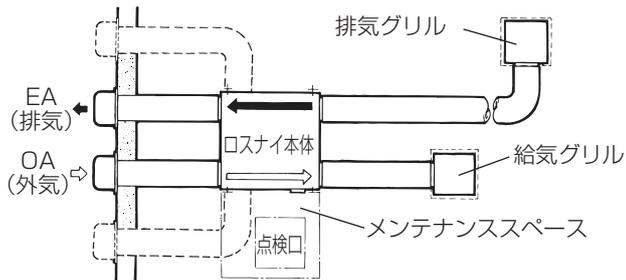
●ダクト接続フランジのすぐそばでの曲げ

●ダクト径を極端にしぼる

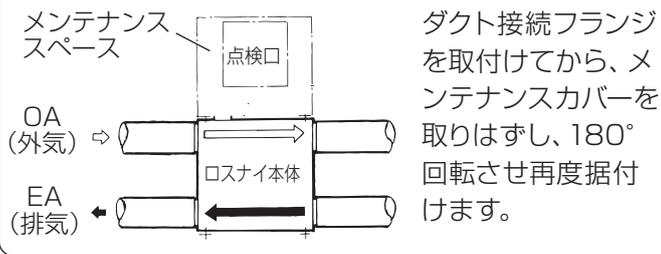


# 標準据付例

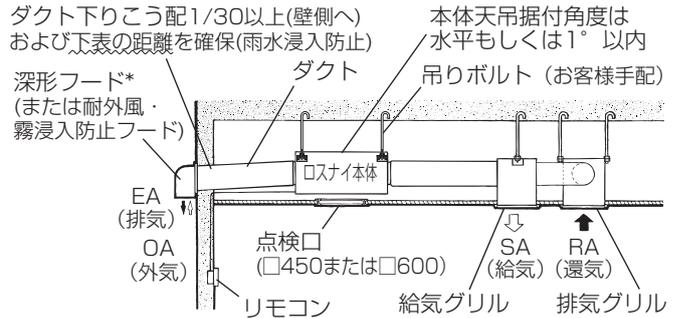
※破線のように室外側ダクトの方向が変換できます。



※天地逆据付も可能です

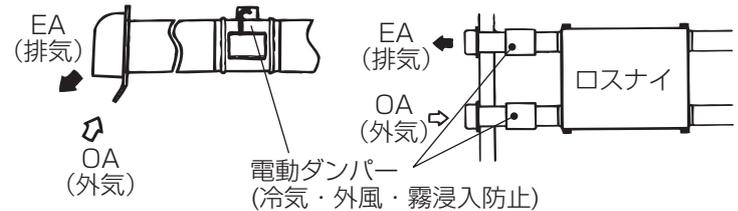


ダクト接続フランジを取付けてから、メンテナンスカバーを取りはずし、180°回転させ再度据付けます。



\*ベントキャップ、丸形フードは雨水が直接かかるところでは、使用できません。(雨水が浸入します)

形名	距離
LGH-N15~N65R3タイプ	1m以上
LGH-N80・N100R3タイプ	2.5m以上

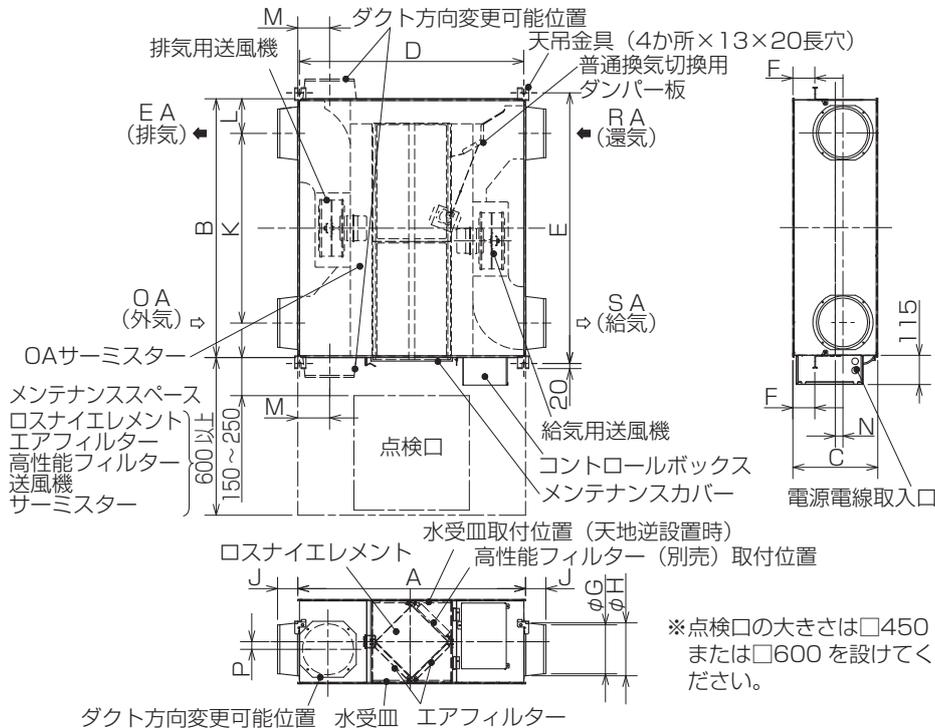


■冬期に凍結のおそれのある地域では、ロスナイ停止時における外気（冷氣）侵入防止として、電動ダンパーなどを併用することをおすすめします。

■商品本体に雨水浸入がないように室外側（OA, EA）ダクトに雨水浸入対策を施してください。

- (例) : ●給・排気口に雨水浸入防止フード（お客様手配）を取付ける。  
●室外に向かって下りこう配（1/30以上）になるように十分距離をとって施工する。

# 外形寸法図と各部のなまえ



## 付属部品

### 取付ネジ

- 十字穴付トラスタッピンネジ 4×8 (フランジ接続用) .....16本
- 十字穴付トラス小ネジ M5×10 (天吊金具固定用) .....4本

ダクト接続フランジ.....4個 (SA, EA側に重ねて入っています)

ネジキャップ.....6個

アルミテープ.....1枚

※点検口の大きさは□450または□600を設けてください。

ダクト方向変更可能位置 水受皿 エアフィルター

単位(mm)

形名	外形						天井吊金具ピッチ			ダクト接続フランジ				ダクトピッチ				質量 (kg)
	A	B	C	D	E	F	呼び径	G	H	J	K	L	M	N	P			
LGH-N15R3タイプ	780	610	289	768	658	65	100	97.5	110	54	450	80	119	50	50	22		
LGH-N25R3タイプ	780	735	289	768	782	65	150	142	160	64	530	102.5	102	30	30	23		
LGH-N35R3タイプ	888	874	331	875	921	85	150	142	160	64	650	112	124	55	55	32		
LGH-N50R3タイプ	888	1016	331	875	1063	85	200	192	208	79	745	135.5	124	30	30	36		
LGH-N65R3タイプ	908	954	404	895	1001	70	200	192	208	79	692	131	124	40	0	48		
LGH-N80R3タイプ	1144	1004	404	1131	1051	77	250	242	258	79	690	157	165	40	40	58		
LGH-N100R3タイプ	1144	1231	404	1131	1278	77	250	242	258	79	917	157	165	40	40	64		

# 据付方法

## ■据付工事の流れ



この製品は、室外側ダクト (EA・OA) の方向を変更することができます。詳しくは「室外側ダクト (EA・OA) の方向を変更する場合」を参照してください。

## ロスナイ本体の据付け

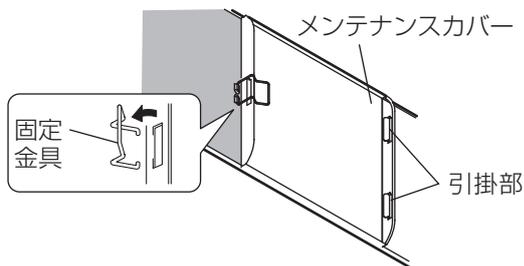
この製品は天地逆設置にて使用することができます。

**天地逆で使用する場合は、本体据付け前に水受皿を付け替えてください。**

付け替えを行わない場合、外気や設置場所の温湿度条件によっては製品から露が落ちるおそれがあります。

## 天地逆設置で使用する場合 (LGH-N15 ~ N50 タイプ)

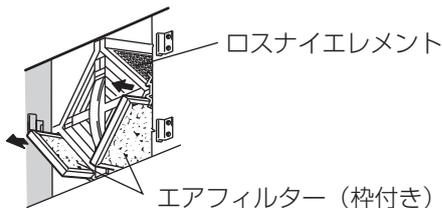
1



### メンテナンスカバーをはずす

1. 固定金具をはずしてメンテナンスカバーを開く。
2. メンテナンスカバーを引掛部から取りはずす。

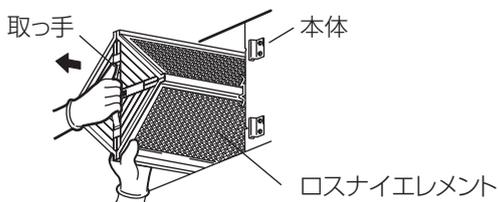
2



### エアフィルターを引き出す

ロスナイエレメントの下側左右に一枚ずつ入っているエアフィルターを引き出す。

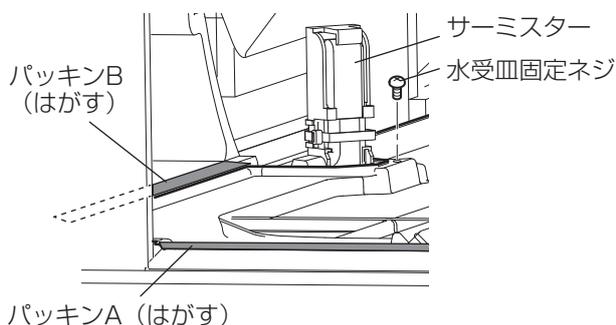
3



### ロスナイエレメントを引き出す

ロスナイエレメントの取っ手を持ち、本体から引き出す。

4



### 水受皿固定ネジをはずす

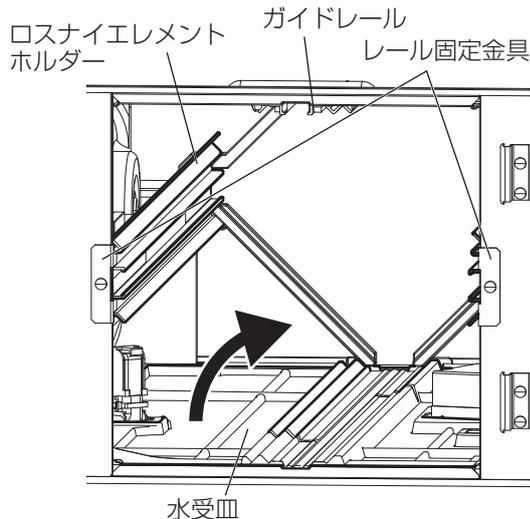
サーミスター横の水受皿固定ネジをはずし、細長いテープ状のパッキンA (手前側: 約200~400mm\*)、パッキンB (手前左側奥: 約200~400mm\*) をはがす。  
\* パッキンの長さは機種により異なります。

### メモ

- はがしたパッキンA、パッキンBは使用しません。

# 据付方法 つづき

5



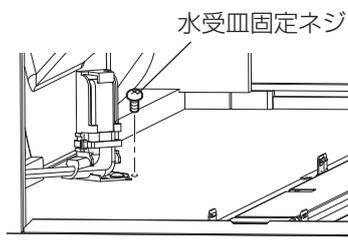
## 水受皿をはずす

左図の矢印のように水受皿を傾けて本体から取り出す。

### お願い

- 水受皿が取り出しにくい場合は、ネジ止めされているレール固定金具（2か所）を取りはずし、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずしてください。（ネジとロスナイエレメントホルダーは再取付け（8項）まで破損させないように保管してください）
- 水受皿を破損させないように作業してください。

6

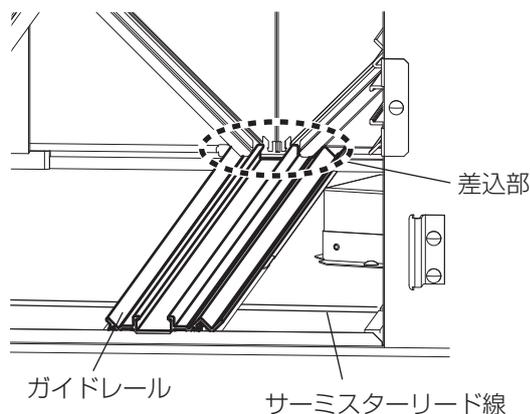


## 水受皿固定ネジを元のネジ穴に取付ける

### お願い

- ネジを取付けないと風量低下や異常音発生の原因になります。

7

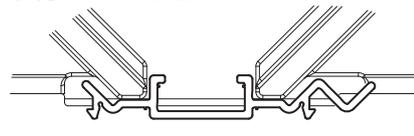


## ガイドレールを付け替える

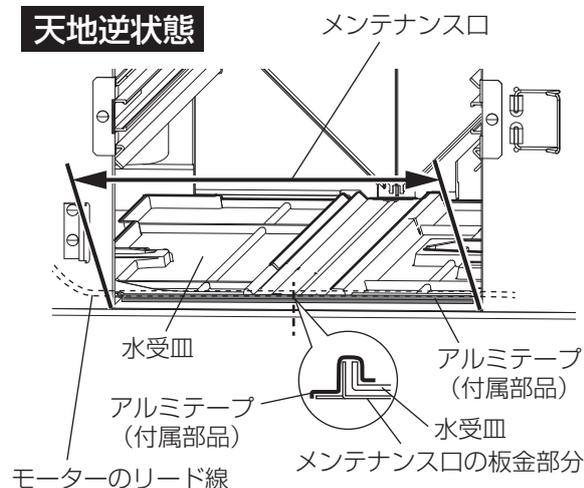
上部のガイドレール（5項の図を参照）を取りはずし、下側へ取付ける。

### お願い

- ガイドレールの付け替え時、サーミスターリード線をかみこまないようにリード線を元の位置にしたうえでガイドレールを取付けてください。
- ガイドレールは本体奥側の差込部形状（下図参照）に合わせて取付けてください。



8



## 水受皿を取付ける

製品を天地逆状態にして本体に水受皿を取付ける。

### お願い

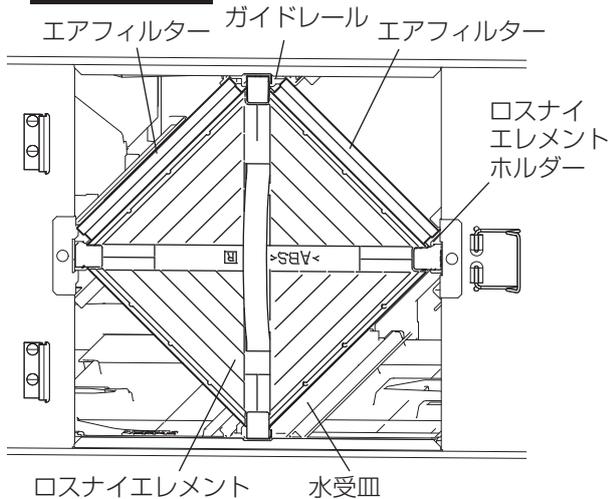
- 水受皿が浮かないようにモーターのリード線は水受皿のくぼみに合わせて取付けてください。
- 水受皿は正設置状態と同じ向きに取付けてください。（5項の図を参照）
- 水受皿を取付け後、水受皿の端とメンテナンス口の板金を付属のアルミテープで固定してください。（アルミテープはメンテナンス口のサイズに合わせて切断してください）
- レール固定金具、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずした場合、水受皿を取付け後、ロスナイエレメントホルダーを本体に取付け、レール固定金具をネジ止めしてください。

### ■アルミテープ切断寸法

形名	LGH-N15R <sub>3</sub> タイプ	LGH-N25R <sub>3</sub> タイプ	LGH-N35・50R <sub>3</sub> タイプ
切断寸法	227mm×50mm	260mm×35mm	303mm×35mm

9

**天地逆状態**



**ロスナイエレメント、エアフィルターを取付ける**

ロスナイエレメントのコーナー部（4か所）をガイドレール、ロスナイエレメントホルダー、水受皿のレール部に確実に差し込み、本体に納める。  
ロスナイエレメントとガイドレール・ロスナイエレメントホルダーの溝に合わせてエアフィルターを差し込む。

**お願い**

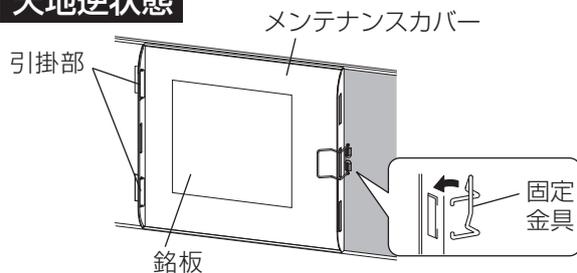
- エアフィルターを取付けるとき、ロスナイエレメントの表面を傷付けないようにしてください。
- エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。入れ忘れるとロスナイエレメントにごみが詰まり、風量低下の原因になります。

**メモ**

- 天地逆取り付けされている場合、エアフィルターはロスナイエレメントの上側に配置されます。

10

**天地逆状態**



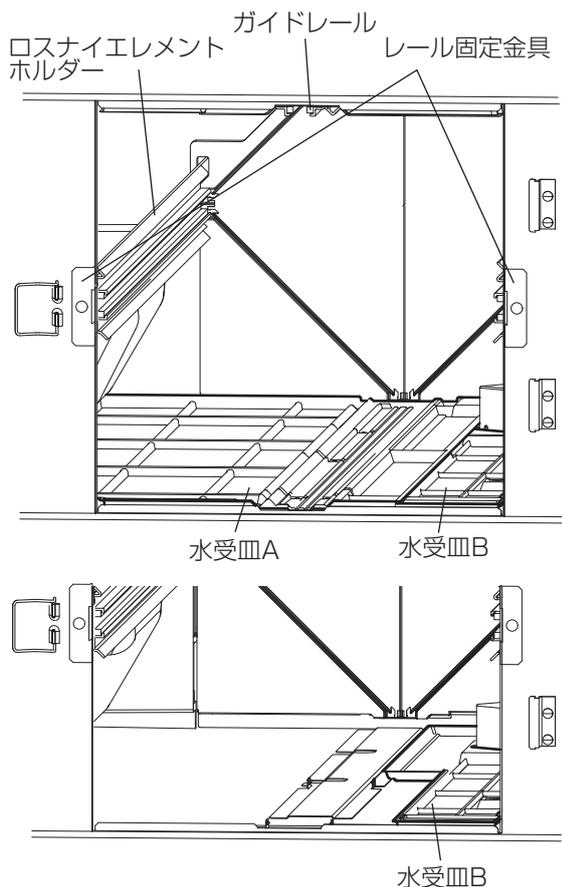
**メンテナンスカバーを取付ける**

引掛部にメンテナンスカバーの穴を引っ掛け、固定金具をかけて固定する。（銘板が読める方向に取付ける）

**天地逆設置で使用する場合（LGH-N65～N100タイプ）**

下記以外は LGH-N15～N50 タイプと同じです。

5



**水受皿Aを傾けて本体から取り出す**

**お願い**

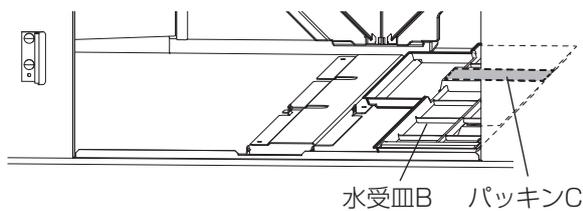
- 水受皿が取り出しにくい場合は、ネジ止めされているレール固定金具（2か所）を取りはずし、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずしてください。（ネジとロスナイエレメントホルダーは再取付け（8項）まで破損させないように保管してください）
- 水受皿を破損させないように作業してください。

**水受皿Bを本体から取り出す**

# 据付方法 つづき

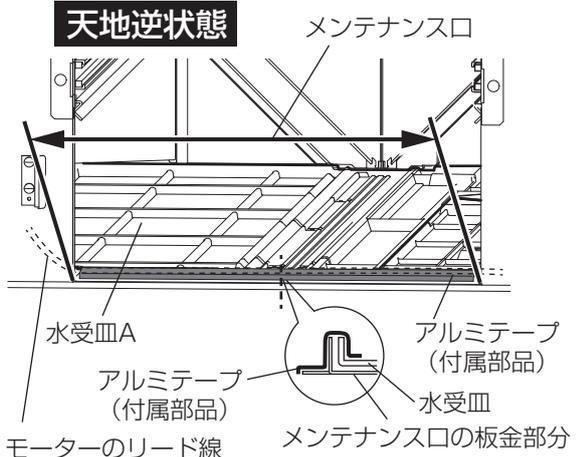
8

## 天地逆状態



水受皿B パッキンC

## 天地逆状態



### ■アルミテープ切断寸法

形名	LGH-N65R <sub>3</sub> タイプ	LGH-N80・100R <sub>3</sub> タイプ
切断寸法	355mm×50mm	380mm×30mm

## 水受皿Bを取付ける

製品を天地逆状態にして、本体に水受皿Bを本体底面に貼り付けてあるパッキンCの左端に合わせて取付ける。

### お願い

- 水受皿は正設置状態と同じ向きに取付けてください。(5項の図を参照)

### メモ

- 水受皿Bは水受皿Aを取付けることにより位置固定されます。

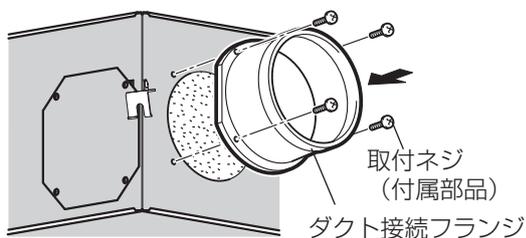
## 水受皿Aを取付ける

### お願い

- 水受皿が浮かないようにモーターのリード線は水受皿のくぼみに合わせて取付けてください。
- 水受皿は正設置状態と同じ向きに取付けてください。(5項の図を参照)
- 水受皿Bの上に水受皿Aを正設置状態と同様に重ねて取付けてください。
- 取付け後、水受皿A、Bの端とメンテナンス口の板金を付属のアルミテープで固定してください。(アルミテープはメンテナンス口のサイズに合わせて切断してください)
- レール固定金具、ロスナイエレメントホルダーを本体から取りはずした場合は、水受皿を取付け後、ロスナイエレメントホルダーを本体に取付け、レール固定金具をネジ止めしてください。

## ロスナイ本体天吊据付け・ダクト接続

1



## ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

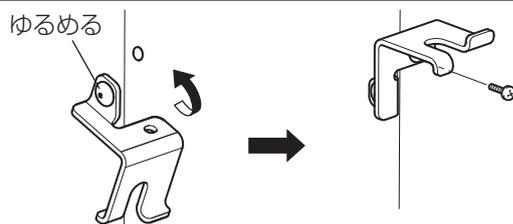
- 必ず付属の取付ネジを使用してください。市販のネジを使用する場合、ネジサイズによりダンパー板に干渉し、動作不良となります。

### お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

- SA・RA側にパッキン付きのダクト接続フランジを取付けてください。

2

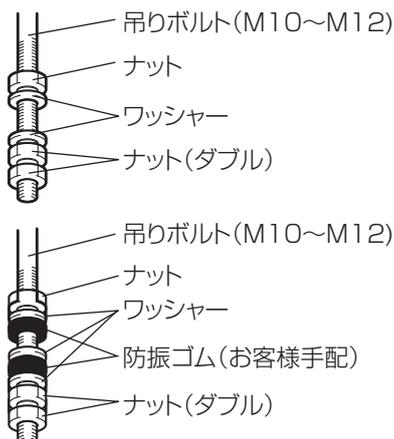


## 天吊金具の固定

- 1.天吊金具のネジをゆるめる。
- 2.ゆるめたネジを中心に天吊金具を90°回転させ、水平にする。
- 3.ゆるめたネジおよび付属の取付ネジ(十字穴付トラス小ネジM5)で製品にしっかり締付け、固定する。

※天吊金具は工場出荷時、本体にたたんだ状態で固定されています。

3



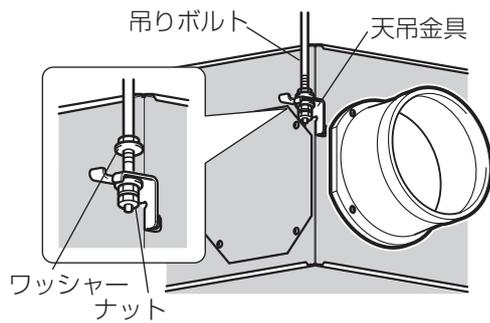
## ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト(M10~M12)に左図のように市販のワッシャー(外径M10で21mm以上、M12で24mm以上)・ナットを取付ける。ゆるみ防止のためダブルナットで確実に取付ける。

## 【防振ゴム(お客様手配)を使用する場合】

防振ゴム(お客様手配)を使用する場合は、強度低下の原因になる可能性がありますので、左記のような施工を推奨します。

4



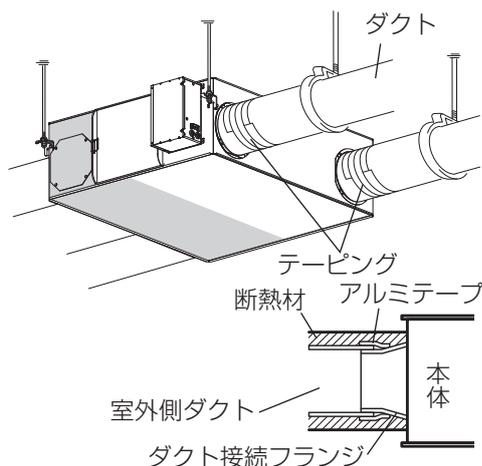
### 本体の固定

1. 天吊金具を吊りボルトに引っ掛け、本体が水平になるよう調節する。
2. ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。

#### お願い

- 本体天吊取付角度は水平もしくは $1^{\circ}$  以内にしてください。
- 本体を吊り上げるとき、コントロールボックスに力が加わるような取扱いをしないでください。
- 吊りボルトは振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。
- 天井内に本体を吊り上げたときに本体の下に人が通れるスペースがある場合は、必要に応じて本体下面のネジ先端に付属のネジキャップを取付けてください。

5



### ダクトの接続

1. ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊るす。
2. ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
3. 室外側ダクト2本（外気・排気ダクト）には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

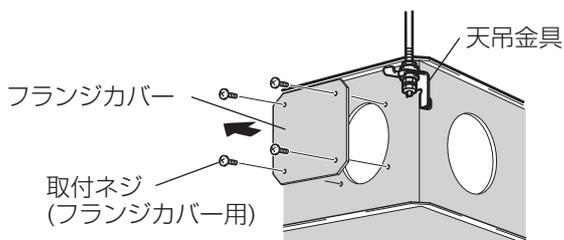
#### お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続工事の際に本体内のダンパー板には触れないでください。
- 夏期冷房時、ロスナイ本体が設置される雰囲気温度が高温になると予想される場合は、室内側ダクト配管にも断熱処理してください。
- 各ダクトの接続は、本体（室内側）の表示を確認してください。（SA/OA、RA/EA）

## 室外側ダクト(EA・OA)の方向を変更する場合

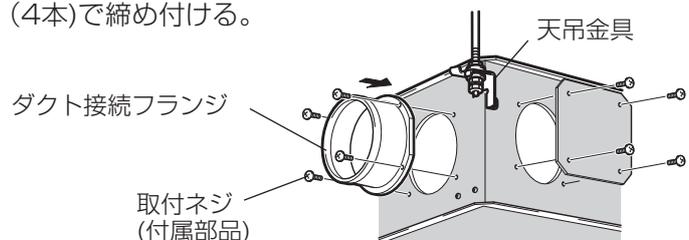
### フランジカバーの取りはずし

フランジカバーの取付ネジ(4本)をはずし、フランジカバーを取りはずす。



### ダクト接続フランジの取付け

1. ダクト接続フランジを、付属の取付ネジで本体に取付ける。
2. 取りはずしたフランジカバーを、取りはずした取付ネジ(4本)で締め付ける。

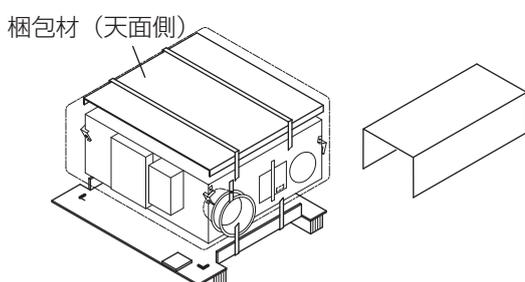


## 梱包材を利用したロスナイメンテナンススペースの確保

製品の梱包材を利用して、ロスナイのメンテナンスに必要なスペースを可視化できます。ロスナイを吊る位置や、天井内のダクト配管等の位置取りの参考としてご利用ください。

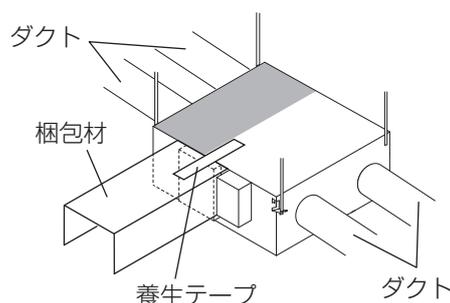
### 梱包材の加工

1. 製品から梱包材を取りはずす。
2. 梱包材（天面側）を罫線に沿って「コ」の字に折り曲げる。



### 梱包材（加工後）の取付け

ロスナイ本体を据付け後、メンテナンスカバーを覆うように梱包材を本体に取付け、上部を養生テープ（お客様手配）で固定する。



#### お願い

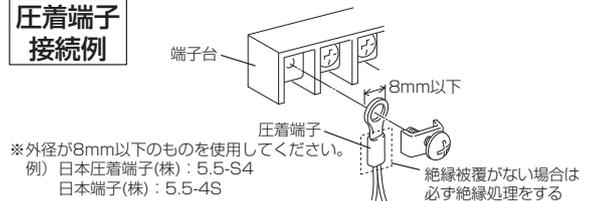
- 養生テープは本体に貼付けてある断熱材を避けて貼付けてください。
- ロスナイ本体および周辺機器の施工工事完了後、梱包材を取りはずしてください。

# 電気工事

## 警告

- 定格電圧、制御容量範囲内で使用する 指定以外で使用すると、火災や感電の原因
- 電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準(\*)や据付工事説明書に従い据付ける。また、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する(\*)「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因
- 端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。電源線、連絡電線など端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する  
接続に不備があると火災の原因

### 圧着端子 接続例



## 共通注意事項

1: 単相200V機種の場合、別売スイッチはPZ-N05SLBD3またはPZ-N20SLBD2を使用してください。

### 組み合わせ表

電源	本体形名	コントロールスイッチ形名
100V	LGH-N15~N100RS3	PZ-N05SLB3またはPZ-N20SLB2
単相 200V	LGH-N15~N100RS3D	PZ-N05SLBD3またはPZ-N20SLBD2

2: 形名末尾D付タイプの電源は単相200V 50/60Hzになります。

3: 排気側マルチ換気モード設定コネクタは工場出荷時、強になっています。(マルチ換気モード設定時に)

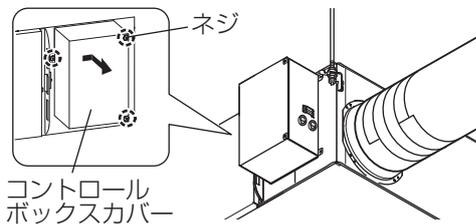
4: 給気側マルチ換気モード設定コネクタは工場出荷時、強になっています。(それぞれ差し換えてください)

5: 単相200V電源の場合、アース工事が必要です。

6: 設定コネクタ差し換え時には、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。

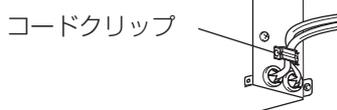
7: コンデンサコネクタ・送風機用電動機コネクタの結線ははずさないでください。

# 1



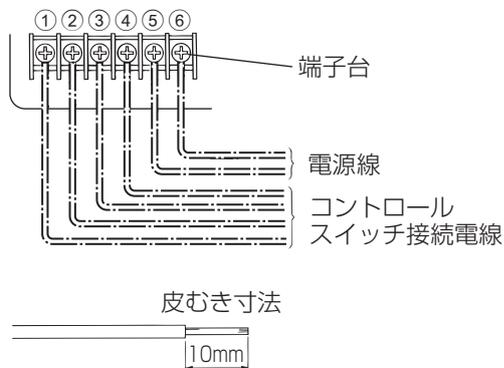
ネジ3本(⊙部)をゆるめて、コントロールボックスカバーを右側(天地逆設置の場合は左側)にスライドしてはまず

# 2



電源線およびコントロールスイッチ接続電線をコードクリップで固定する

# 3

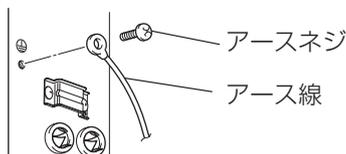


電源線およびコントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例VVF)は結線図を参照し、コードブッシュを通して端子台に接続する

### お願い

- 電源線、スイッチ接続線はサーミスタと5cm以上離して配線してください。
- 端子台のネジは2N・mより大きなトルクで締めないでください。基板が破損するおそれがあります。
- 電線の皮むき寸法は10mmとしてください。皮むき寸法が長いと芯線どうしが接触して短絡するおそれがあります。
- ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長は、合計100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)
- コントロールスイッチは1台のみ使用可能です。

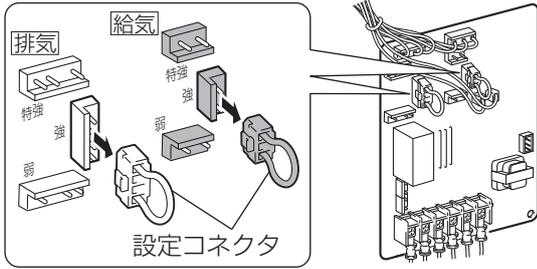
# 4



単相200Vの場合、アース工事をする

コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。

5

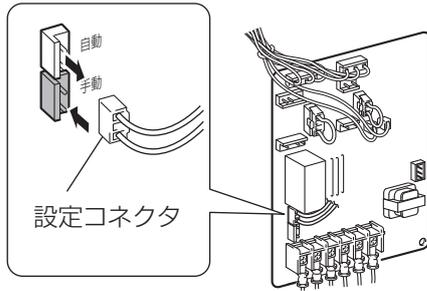


### マルチ換気モード設定を行う

使用用途に応じてマルチ換気モード設定コネクタを差し換える。詳しくは「機能設定」(13ページ)を参照してください。

- 工場出荷時は「強」になっています。
- 給・排気それぞれ差し換え可能です。
- ※LGH-N15RS3(D)、N25RS3(D)タイプには特強の機能がありません。コネクタを「強」「弱」以外には差さないでください。

6



### 自動/手動換気機能切換設定を行う

使用用途に応じて自動/手動換気設定コネクタを差し換える。詳しくは「機能設定」(13ページ)を参照してください。

- 工場出荷時は「自動」になっています。
- 「手動」に設定した場合は、コントロールスイッチの機能切換スイッチ表示銘板の交換をしてください。詳しくはコントロールスイッチの「取扱説明書」をご覧ください。
- 「手動」に設定した場合、冬期に室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しないでください。本体に結露を生じ、天井等を汚すおそれがあります。
- 自動…外気温度(17~24℃を目安)によって普通換気を実施します。手動…コントロールスイッチの操作により換気モードを切り換えます。

メモ

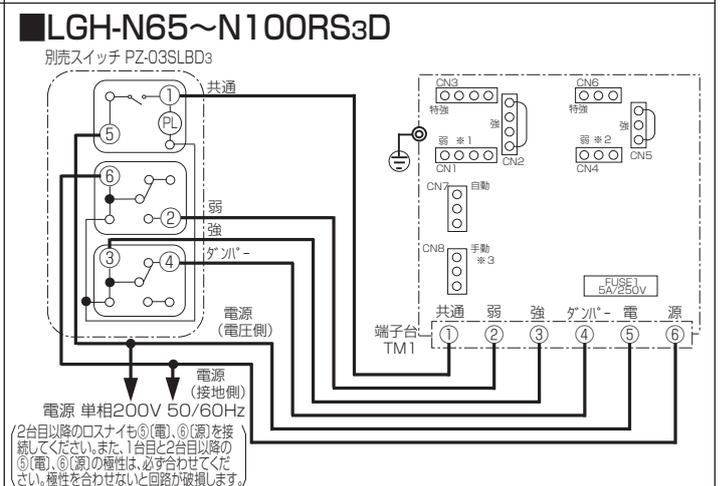
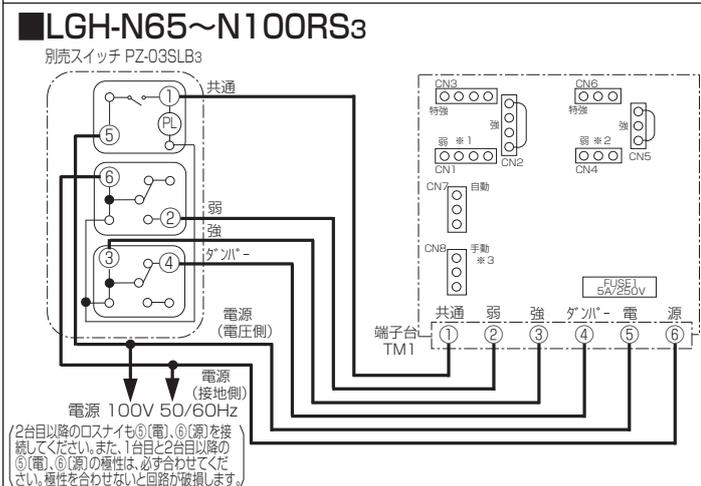
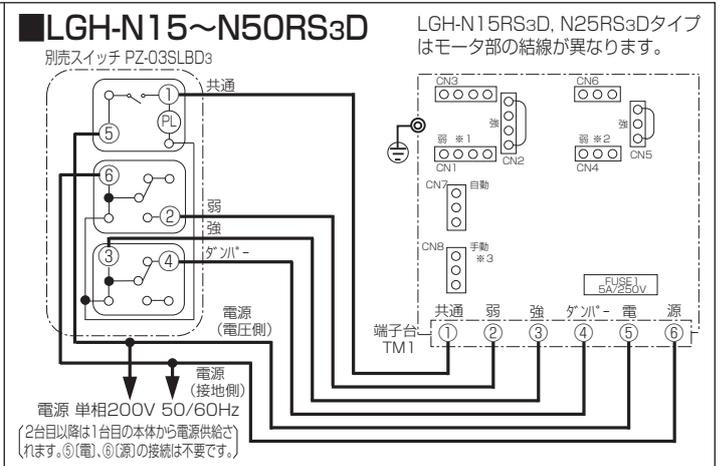
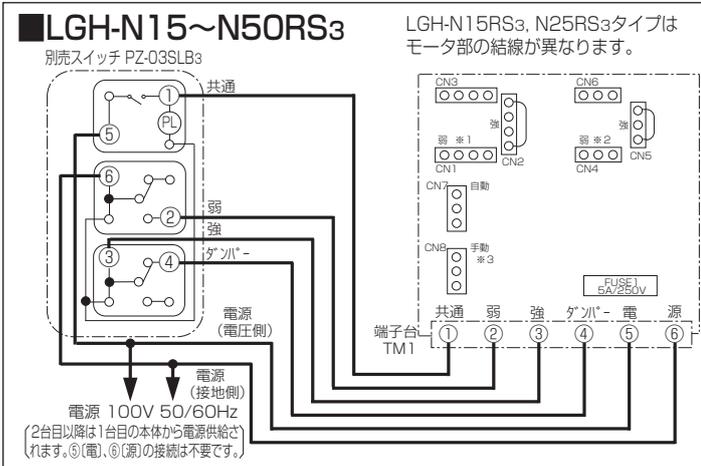
## 7 結線が終わったら元通りコントロールボックスカバーを取り付け、10ページの1でゆるめたネジ3本を締める

### 結線図

※太線および破線部分を結線します。

漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください。

1つのコントロールスイッチで複数のロスナイを操作する場合、1つの漏電ブレーカーから各ロスナイに電源を供給してください。ロスナイ1台ごとに漏電ブレーカーを設置すると、電流の回り込みにより漏電ブレーカーが誤動作することがあります。



※1 排気側マルチ換気モード設定コネクタ  
※2 給気側マルチ換気モード設定コネクタ  
※3 普通換気自動・手動設定コネクタ

# 電気工事 つづき

## 複数台運転可能台数

### 100V

PZ-N05SLB3またはPZ-N20SLB2 1台で右表の同一機種複数台運転ができます。

形名	台数
LGH-N15RS3	7
LGH-N25RS3	5
LGH-N35RS3	3
LGH-N50RS3	2
LGH-N65RS3	10
LGH-N80RS3	10
LGH-N100RS3	10

### 単相200V

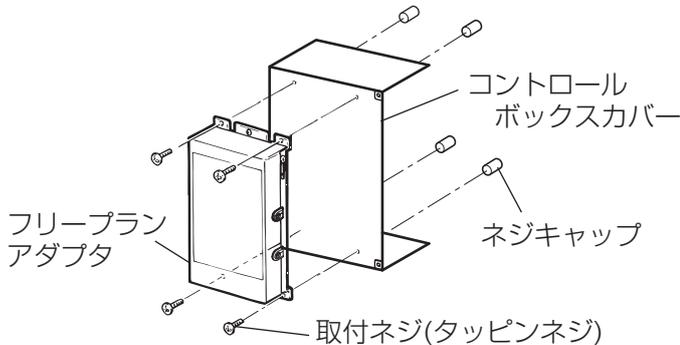
PZ-N05SLBD3またはPZ-N20SLBD2 1台で右表の同一機種複数台運転ができます。

形名	台数
LGH-N15RS3D	7
LGH-N25RS3D	5
LGH-N35RS3D	3
LGH-N50RS3D	2
LGH-N65RS3D	10
LGH-N80RS3D	10
LGH-N100RS3D	10

メモ ●異機種組合せ複数台運転については、カタログ・納入仕様書を参照ください。

## システム部材（別売）フリープランアダプタ〔PZ-N53ADF2〕を使用する場合

三菱ビル空調管理システム（MELANS）に接続するためにフリープランアダプタを取付ける場合は、下記の位置に取付けることができます。詳しくはフリープランアダプタの据付工事説明書をご覧ください。



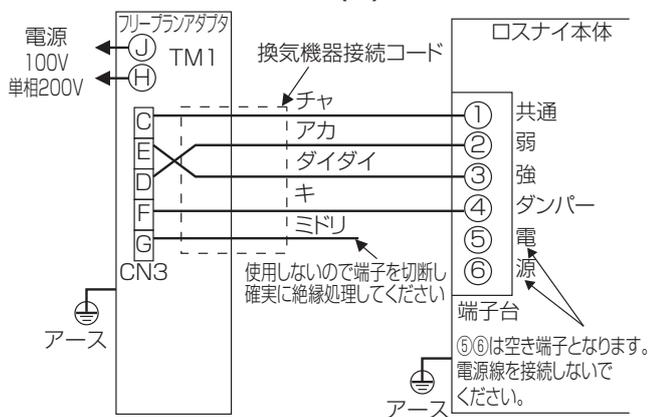
- 1.コントロールボックスカバーを取りはずす。
- 2.システム部材に付属の取付ネジでアダプタをコントロールボックスカバーに固定する。
- 3.コントロールボックスカバー内側に出たネジ先端に、システム部材に付属のネジキャップを取付ける。

## 警告

このシステム部材をロスナイ本体のコントロールボックスカバーに取付ける場合は、取付後コントロールボックスカバー内側に出たネジ先端に同梱のネジキャップを必ず取付ける使用しないと漏電・火災などの原因

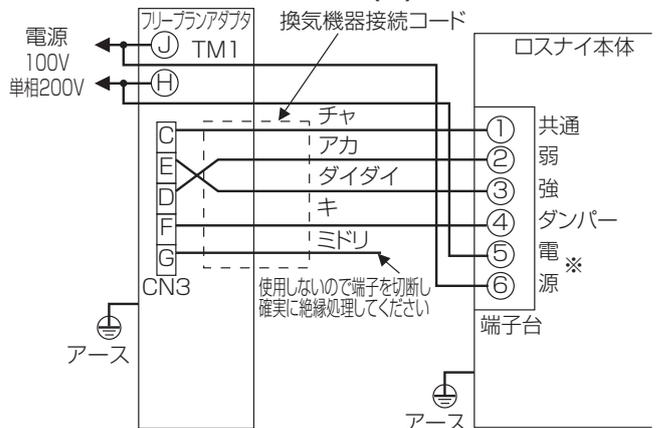
## 結線図

### LGH-N15~N50RS3(D)



アダプタ SW2-7~10の設定：8番ON その他OFF

### LGH-N65~N100RS3(D)



アダプタ SW2-7~10の設定：8番ON その他OFF

※電源には極性があります。アダプタ④とロスナイ本体⑤、アダプタ⑤とロスナイ本体⑥の間を接続してください。

# 機能設定

制御基板上の設定コネクタ（CN1～3, CN4～6, CN7・8の3か所）を差し換えて機能設定を行う。



## 警告

設定コネクタを差し換えるときは、必ず分電盤のブレーカーを切る  
感電やケガの原因

## 1. マルチ換気モード設定

使用環境や設置場所に応じて給気と排気のバランスを調整することができます。

- 本体設定コネクタにより、下表換気モードの選択が可能です。

コントロールスイッチ	強				弱
設定コネクタ 給気側	強（特強）	強（特強）	弱	弱	—
設定コネクタ 排気側	強（特強）	弱	強（特強）	弱	—
マルチ換気モード	パワー給排気	パワー給気	パワー排気	※省エネ換気	省エネ換気

※ 本体設定コネクタを両方もとも弱に設定すると、コントロールスイッチの強／弱によらず省エネ換気固定となります。

コントロールスイッチの風量切換スイッチで「強」に切り換えた場合、本設定に従い給気および排気用送風機が運転します。

※ LGH-N15RS3(D)、N25RS3(D)は「特強」の機能がありません。「強」または「弱」に設定してください。

- 給気用送風機

モード	設定コネクタ	動作
特強	CN6（白）	「強」のとき、特強風量で運転する。
強	CN5（白）	「強」のとき、強風量で運転する。 (工場出荷時)
弱	CN4（白）	風量切換スイッチによらず弱風量で運転する。

- 排気用送風機

モード	設定コネクタ	動作
特強	CN3（赤）	「強」のとき、特強風量で運転する。
強	CN2（赤）	「強」のとき、強風量で運転する。 (工場出荷時)
弱	CN1（赤）	風量切換スイッチによらず弱風量で運転する。

## 2. 自動 / 手動換気機能切換設定

ロスナイ換気、普通換気（バイパス換気）の切換方法を選択することができます。

コントロールスイッチの機能切換スイッチを操作したとき、本設定に従い動作します。

- 「自動換気」については、別冊の「取扱説明書」を参照してください。
- 工場出荷時から「手動切換」に変更した場合、コントロールスイッチの「据付工事説明書」を参照して、コントロールスイッチの表示もあわせて変更してください。

モード	設定コネクタ	動作
自動切換	CN7	「ロスナイ換気」と「自動換気」を切り換える。(工場出荷時)
手動切換	CN8（青）	「ロスナイ換気」と「普通換気（バイパス換気）」を切り換える。

# 据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。  
不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス☑をチェック願います。

## (1) 製品据付チェック

- 室外側ダクト2本には断熱材を巻き付けてありますか？ 【ロスナイ本体天吊据付け・ダクト接続 5 参照】
- 室外側ダクトは壁側に向かって1/30以上の下りこう配を確保していますか？ 【標準据付例 参照】
- 室外側ダクトは1m以上または2.5m以上の距離を確保していますか？ 【標準据付例 参照】
- 本体天吊据付角度は水平もしくは1°以内になっていますか？ 【標準据付例 参照】
- 天地逆設置の場合、水受皿の入れ替えは実施しましたか？ 【天地逆設置で使用する場合 参照】

## (2) 電気工事チェック

- 電源と本体形名、コントロールスイッチの組み合わせは正しいですか？ 【電気工事 組み合わせ表 参照】
- 接続電線は結線図通り結線されていますか？ 【結線図 参照】
- 接続電線の端子台への接続は確実ですか？ 【電気工事 3 参照】
- 接続電線の固定は確実ですか？ 【電気工事 2 参照】
- 基板上のコネクタのはずれはありませんか？ 【電気工事 5 6 参照】
- (200V機種の場合) アース線の接続は確実ですか？ 【電気工事 4 参照】
- コントロールボックスカバーを取付けるネジは所定の位置で確実に締まっていますか？ 【電気工事 7 参照】

## (3) 機能設定チェック

- マルチ換気モード設定コネクタの接続は正しいですか？ 【電気工事 5 参照】
- 自動/手動換気設定コネクタの接続は正しいですか？ 【電気工事 6 参照】

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

# 試運転

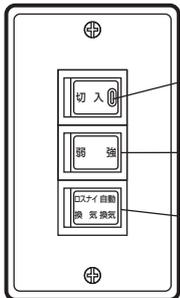
本体の据付工事の終了後、天井板を張る前に結線が間違っていないか確認する。  
必ず試運転をし、動作確認を実施する。

## 1. 必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

	項目	手順
①	自動/手動換気設定コネクタの差換え（ロスナイ本体）	自動/手動換気設定コネクタを「手動」換気に設定する。（電気工事⑥（11ページ）を参照）（手動換気設定に変更済みの場合、本操作は不要です）
②	コントロールスイッチ	電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」・機能切換スイッチを「自動換気」または「普通換気」にする。
③	抵抗の測定（ロスナイ本体）	・ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て抵抗を測定する。 ・ロスナイの端子台④⑥にテスターを当て抵抗を測定する。 1Ω以下が出た場合は、短絡しています。回路が破損しますので結線図通りに結線し直してください。
④	コントロールスイッチ	電源スイッチを「切」にする。

## 2. 元電源を入れ次の確認を行う。

システム部材（別売）  
コントロールスイッチ



電源スイッチ  
（電源ランプ付）

風量切換スイッチ

機能切換スイッチ

- ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て、電圧を測定する。異電圧が印加されている場合は正しい電圧で結線し直す。
- 電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」に切り換えてロスナイの給気と排気の風量が切り換わることを確認する。  
※マルチ換気モード設定を「弱」にしている場合、風量は切り換わりません。
- 機能切換スイッチを「ロスナイ換気」・「自動換気」または「普通換気」に切り換えたときに、ロスナイ本体内のダンパーが切り換わることを確認する。  
※電源スイッチが「入」の状態而异電圧印加された場合、ダンパーモータが故障し、ダンパーが正常に切り換わらなくなるおそれがあります。

## 3. 必ず元電源を切り、次の確認を行う。

	項目	手順
①	回路基板の確認	回路基板上のヒューズ（FUSE1）が切れていないことを確認する。（100V機種に单相200Vを印加するとヒューズが切れます）
②	自動/手動換気設定コネクタの差換え（ロスナイ本体）	自動/手動換気設定コネクタを「自動」換気に設定する。（電気工事⑥（11ページ）を参照）（換気切換モードを「手動換気」でご使用の場合は設定を変更する必要はありません）

## 試運転で異常があった場合

項目	処置
回路基板ヒューズが切れている	・異電圧印加により回路基板およびダンパーモータが故障しています。電源電圧を再確認のうえ、専門の工事店へ上記部品の交換を依頼してください。
コントロールスイッチの電源スイッチを入れても運転しない	・結線の確認 ・電源の確認 ・マルチ換気モード設定コネクタがはずれていないか確認
コントロールスイッチの風量切換スイッチを切り換えても風量が切り換わらない	・結線の確認 ・マルチ換気モード設定コネクタの確認
コントロールスイッチの機能切換スイッチを切り換えてもロスナイ本体内のダンパーが切り換わらない（自動換気に設定している場合、外気温度により普通換気に切り換わらない場合があります）	・結線の確認 ・自動/手動換気設定コネクタの確認 ・サーミスター線の確認（コネクタはずれ、断線等がないか）

■モータに過負荷保護装置として、温度ヒューズが内蔵されています。拘束、過負荷、異電圧印加、あるいは周囲温度が40℃を超える場合にはヒューズが自動的に溶断し、通電不能となることがあります。モータが動作しない場合は、電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

# お客様への説明

---

- 別冊の「取扱説明書」に従って正しい使いかたを説明してください。特に「安全のために必ず守ること」の項は安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。なお、物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナーなど）または、管理会社へご説明ください。
- この「据付工事説明書」は、据付工事が終わりましたら、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へ必ずお渡しください。